

ライフサイクルの視点で環境負荷を考える — 携帯電話と環境問題 —

講師

松本 真哉 教授

横浜国立大学大学院 環境情報研究院 人工環境と情報部門

2015年12月5日(土) 14:00～15:30

大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス
A12棟 サイエンスホール

- ◆ 参加費無料・事前申込不要 どなたでもご参加いただけます
- ◆ 定員 100名 (定員を超えた場合、入場を制限することがあります)
- ◆ 駐車場はありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください

- ◆ 主催 大阪府立大学大学院理学系研究科 理学系研究科Webサイト
- ◆ お問い合わせ <http://www.s.osakafu-u.ac.jp>

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪府立大学 理学系研究科支援グループ

TEL: 072-254-9162

ライフサイクルの視点で環境負荷を考える

ー携帯電話と環境問題ー

地球温暖化やCO₂排出削減などが世界中で問題になっているようです。私たちはこれらの問題にどう向き合えばいいのでしょうか？電気や水を大切に使う、エコバックを利用する、など、いろいろ「エコ」な「環境にやさしい」行動が紹介されていますが、それだけで良いのか疑問に思ったことはないでしょうか？そもそも「環境にやさしい」とは一体どういうことなのでしょう？本講座では、モノのライフサイクルを考えることから、モノやエネルギーを大量に消費する私たちの毎日の生活と環境問題の結び付きについて一緒に考えたいと思います。私の研究室で開発し、高校などで実践を進めている携帯電話を題材として取上げた環境教育教材の紹介を通して、ライフサイクルを考えることの重要性を学びましょう。

講師紹介

松本 真哉 (まつもと しんや)

横浜国立大学大学院 環境情報研究院 人工環境と情報部門

1994年 大阪府立大学大学院工学研究科博士前期課程修了、1994年～1997年 シャープ株式会社液晶事業本部、2001年 横浜国立大学大学院工学研究科博士課程後期修了(博士(工学))、2002年 横浜国立大学教育人間科学部講師、2004年 同助教授を経て2011年より現所属



専門:液晶ディスプレイや太陽電池などに応用される機能性色素の構造物性相関、特に結晶状態の光電子特性の理解を目的とした基礎研究に取り組んでいる。最近、ライフサイクル思考を取り入れた環境教育教材の開発や実践にも取り組み始めた。

◆ プログラム

(開場 13:30)

14:00 開会の挨拶

入江 幸右衛門 (大阪府立大学大学院理学系研究科長)

14:10 講演『ライフサイクルの視点で環境負荷を考えるー携帯電話と環境問題ー』

松本 真哉 (横浜国立大学大学院環境情報研究院)

(閉会 15:30)

◆ 会場

大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス
A12棟サイエンスホール

アクセス

- ・南海高野線「白鷺駅」から約500m、徒歩6分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」・地下鉄御堂筋線「なかもず駅」から約1,000m、徒歩13分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」・地下鉄御堂筋線「なかもず駅」南口バス乗り場から南海バス(31、32、31-1系統「北野田駅前」行)に乗り車して約5分、「府立大学前」下車すぐ

